

# 令和6年度事業計画書

## 基本方針

令和5年4月に、こども基本法の施行、こども家庭庁が発足し、子どもの幸せを第一に考える、子どもを真ん中に据えた社会の実現に向け、様々な取り組みが行われています。国の施策のひとつには児童館の機能でもある「こどもの居場所づくり」が掲げられており、児童館が地域の子どもの健全育成と子育て支援の拠点として、児童館の基本的機能をさらに充実させていくことが求められているのではないかと考えます。

こうした課題に対応するため、引き続き基本理念である「こどもファースト！」のもと、令和6年度は「居たい、行きたい、遊びたい」をテーマに掲げ、子どもや保護者にとって、児童会館がいつでも何度でも行きたい場所、遊びに行きたい場所と思ってもらえるよう、利用者のニーズやトレンドを捉えた魅力ある遊びの提供と安心安全かつ居心地のよい施設づくりに取り組んでまいります。また、県内唯一の大型児童館として、県内児童館との連携や移動児童館の実施など、県内における子ども達の健全育成の環境づくりにも努めてまいります。

### 【数値目標】

	令和6年度	令和5年度	
		目 標	見 込 み
入館者数	240,000人	180,000人	210,000人
プラネタリウム利用者数	35,000人	28,000人	33,700人
移動児童館利用者数	2,800人	2,000人	2,600人
実施事業の満足度	94%	94%	91%
館全体の利用者満足度	94%	94%	91%
ホームページ閲覧数	98,000アクセス	83,000アクセス	96,000アクセス

※令和5年4月22日（土）から入館者数の制限をなくし、土日祝日のプラネタリウム投影回数を4回から5回に、令和5年6月10日（土）から、5回から6回に変更した。

# 1 育成事業

## (1) 企画事業 7, 635千円

児童会館の機能と特性を活かし、学校の長期休暇等にあわせて、子どもから大人まで楽しめる体験型の大型イベントを開催します。また、新規事業として子どもたちが主役として舞台にたつ「こどもミュージカル」の開催や東京おもちゃ美術館の協力による「グッド・トイ」イベントの他、引き続き全国規模の遊びイベントへの参加や親子を対象とした自然散策、地域団体や太田市との連携事業等、大型児童館ならではの様々な企画を利用者へ提供します。

新規	ゴールデンウィーク企画	4～ 5月	東京おもちゃ美術館と連携し「グッド・トイ」をテーマとした体験型の企画展を開催する
	こどもまんなか児童福祉週間特別企画	4～ 5月	児童福祉の理念の普及・啓発のため、児童福祉週間標語の掲示やこいのぼりの掲揚、特別企画等を開催する
	夏の特別企画	7～ 8月	幅広い年齢層の子どもや親子等の利用者ニーズに基づいた話題性のあるイベントを開催する
	全国カプラ大会	9月	第11回全国カプラ大会に応募する作品を利用者から募る
	ハロウィン特別企画	10月	県民の日やハロウィンの時期にあわせて、複数のコーナーで構成される参加型のイベントを開催する
	冬の特別企画	12～ 1月	クリスマスからお正月にかけて多目的ホールを会場にイルミネーション等の季節感あふれるイベントを開催する
	春のこどもの国フェスティバル	3～ 4月	健全育成の視点にたち、子どもや親子等へあそびの楽しさや喜びを感じてもらえる空間を提供する
	こどもわくわく劇場	随時	地域の団体やサークル、学生等の活動発表の場を提供する
新規	100万人のクラシックライブ	2回	太田市・太田市文化スポーツ振興財団と共催でクラシックコンサートを開催する
	こどもミュージカル	1回	地域の子供達で構成するミュージカルクラブによる公演を開催する
	こども観劇会	1回	プロの劇団等を招いて、良質な劇や音楽会を開催する
	にこっとなんとあそぼう	1回	マスコットキャラクター「にこっとなん」と一緒に遊び参加者と交流を図る
新規	にこっと自然学校	1回	金山総合公園や周辺環境を活用し、自然散策やハイキング等の屋外活動を行う
	伝統芸能にふれよう	1回	日本の伝統文化に触れる機会を提供する
	ブロックであそぼう	随時	地元企業が開発したブロックや様々な形状のブロックで遊ぶ場を提供する
	トイレールであそぼう	随時	プラレール等の鉄道玩具による自由遊びの場を提供する
	チャレンジ！ジャグリング	2回	プロや学生によるパフォーマンスショーの他、ジャグリング体験の場を提供する
	クリスマスコンサート	1回	金山総合公園と共催でクリスマスコンサートを開催する
おおた・まちの先生見本市	1回	地域の一員として太田市が開催するイベントへ出展する	

## (2) サイエンスワンダーランド 3, 250千円

科学展示室は、保育園や幼稚園、小学校等の団体利用の他、幅広い子ども達が利用する場であり、日常点検や定期的な保守点検に努め安全第一に運営します。講座等においては、身近な現象を題材にした実験ショーや科学工作体験の他、県内高校や地域団体の協力を得ながら、子ども達に科学への興味をつなげられるようなプログラムを提供します。

一般展示	通 年	常設展示
ハイビジョンシアター	通 年	土日祝日、長期休暇にCS放送を放映する
プチサイエンスショー	3回	身近な科学現象を題材にした実験ショーを実施する
スペシャルサイエンスショー	1回	専門の講師を招いて科学実験ショーを行う
科学工作	3回	高校生や地域団体による科学工作や、科学遊びを体験できる場を提供する
科学講座	3回	専門講師や職員による体験型講座を開催する
おもしろ科学教室	2回	小中学生を対象とした科学教室を開催する
サイエンス集団利用	通 年	学校等の団体利用者に向けた科学工作、実験ショーを実施する

## (3) スペースシアター 10, 298千円

プラネタリウム機能を最大限活かし、子どもを中心に幅広い年齢層が楽しめるプラネタリウム番組の上映の他、子ども達が天文や宇宙への興味・関心を持てるような特別企画を開催します。団体投影については、季節の星座解説と年代に合わせた番組を組み合わせで行います。また、全国または県内プラネタリウム関係団体との交流や情報交換から、最新のトレンドを収集し、幅広い年齢層が楽しみや癒やしを感じる空間を提供します。

プラネタリウム一般投影	通 年	幼児・こども向け等の番組を投影する
プラネタリウム特別企画	6回	毎回テーマを設定し、特別なプログラムを投影する
にこっとドーム	随 時	移動プラネタリウムにて星空解説等を行う
おやこプラネタリウム	2回	乳幼児親子を対象とした番組を上映する
こども宇宙教室	1回	天文・宇宙に詳しい講師を招いて、講座を行う
こどもの国スターフレンド	4回	プラネタリウムの解説と実際の星空の観察会を開催する(金山総合公園と共催)
プラネタリウム団体投影	通 年	星空の生解説と学年にあわせた学習番組を上映する
星空掲示板	通 年	季節ごとの天文トピックスに関するポスターや写真等を掲示し、情報発信する

## (4) クラフトルーム 1, 320千円

身近にある自然素材、リサイクル素材など様々な素材を用い、いつ来ても違う工作が楽しめるプログラム提供を行います。また、プログラム終了後、作り方をホームページに掲載し広く紹介していく他、令和2年度以降に提供した工作作品の展示と厳選したプログラムを集めたレシピ集を作成します。

自由利用プログラム	8プログラム	身近な素材で幅広い年齢層に対応したプログラムを提供する
季節プログラム	7プログラム	季節行事に合わせた工作プログラムを提供する
チャレンジクラフト	5回	制作過程の多いプログラムを教室形式で実施する
クラフトルーム作品展&レシピ集	1回	工作作品の展示とレシピ集を作成し発行する
クラフトルーム集団利用	通 年	学校等の団体利用者に向けたプログラムを提供する

#### (5) プレイルーム 445千円

自由利用では就学前までの子どもがそれぞれの発達段階に応じた遊びが出来るよう遊具を配置します。遊具は県産材を活用した木育遊具を多く取り入れる他、グッドトイ等の優良おもちゃに触れる機会を提供し、木のぬくもりを感じたりおもちゃで遊ぶ楽しさの他、家族でボードゲーム遊びを体験できる場を提供します。

自由利用プログラム	7プログラム	年齢に応じた遊具を提供する
わいわいひろば・だんらんひろば	通 年	家族や仲間同士で楽しめるふれあいの場として開放する
ボードゲーム広場	1 回	様々なボードゲームを体験できる場やボードゲーム紹介・体験ワークショップを提供する
プレイルーム集団利用	通 年	幼稚園等の団体利用者に向けたプログラムを提供する

#### (6) ビデオライブラリー 229千円

幼児から青少年に向けた優良なDVDソフトの視聴を通して、豊かな感性を育みます。また、映像の仕組みを学び、制作が体験できる講座を実施します。

自由利用	通 年	好きな番組を選び自由に視聴できる場を提供する
わくわく映像教室	2 回	専門講師による、アニメーション作品の制作体験の場を提供する

#### (7) パソコンルーム 800千円

年齢や興味に応じて選択できる自由利用プログラム運営のほか、大学生や専門分野の方と連携し、プログラミング体験講座を実施します。

自由利用	通 年	インターネットやプログラミング、ゲームソフトの利用の場を提供する
パソコン工房	1 2 回	季節にあったパソコンクラフト等を実施する
パソコンプログラミング体験	2 回	コンピュータ技術を活用しプログラミング体験の場を提供する

#### (8) こども図書室 220千円

絵本や児童書、コミック本を配架し、子ども達に本や読書に興味関心をつなげるようにするとともに、幼児から大人まで居心地のよい居場所となるような環境づくりを行っていきます。また、遊びを取り入れながら、たくさんの本に触れる機会を提供する他、ボランティアの協力を得て、定期的に絵本や紙芝居の読み聞かせを行います。

自由閲覧	通 年	月刊誌、絵本、コミック本、児童書、育児書等を提供する
おはなしのへや	3 回	えほんビンゴを取り入れながら、こども図書室やハイビジョンシアターで絵本の読み聞かせを行う
自転車紙芝居	2 回	公園等で紙芝居の上演を行う
ぐんま方言かるた体験会	1 回	共愛学園前橋国際大学の先生と学生を招き、ぐんま方言かるたの体験会を行う
図書室集団利用	通 年	団体利用プログラムによる絵本の読み聞かせを実施する

### (9) 子育て支援事業 450千円

子育てに関心あるプログラムを取り入れ、親や祖父母などと一緒に活動ができる場を提供するとともに、周辺の自然環境を利用した事業を実施します。

改	おたんじょうてがた	11回	乳幼児の親子向け、成長記録に役立つ作品として提供する
	にこにこサロン	11回	乳幼児向けの親子遊びや季節に応じた外遊びを行う他、専門の講師を招いて実施する回も設ける
	パパ&ママとenjoy!	4回	子育て中の父親、母親等を対象に、子どもや家族と一緒に楽しめる遊びの場の提供と育児に役立つ講座やリフレッシュできるプログラムを提供する
	おもちゃの広場	8回	優良おもちゃの提供と、おもちゃコンサルタントによるおもちゃに関する相談の場を提供する
	ねんねでパシャリ!	3回	子どもの成長を写真で記録する、寝転びアートの場を提供する
	食育事業	9回	金山総合公園と共催の稲作体験や専門の講師を招いた講座、共愛学園前橋国際短期大学の先生方などを招いたイベントなどを実施する

### (10) 子育て・子どもの居場所事業 319千円

子ども同士が同年齢や異年齢、家族と交流する中で、様々な活動ができる機会を提供する他、屋外での活動も積極的に推進し、職員が遊びを支援します。また、中高生が地域で活躍する場を提供し、その活動を支援します。

改	あそぼうタイム	4回	講師やプレーワーカーと共に異年齢の子同士が集団ゲームや野外活動などを楽しむプログラムを提供する
	中高生世代の参画事業	随時	中高生世代が乳幼児との遊び等を学び実践する他、地域で活躍する機会の提供と活動を支援する
	あそぼー広場	随時	ベーゴマやけん玉イベントの他、多目的ホールを有効活用した様々なあそびを提供する
	スポーツ教室	3回	専門の講師を招いた陸上教室やバスケ教室等を実施する(金山総合公園と一部共催)
	とことん外で遊び隊	3回	金山総合公園内でプレーワーカーを配置し、定期的なあそび場を開催する
	集団利用	通年	カプラで共同製作の楽しさを体験できる場を提供する

## 2 推進事業

### (1) 児童館活動促進 1,809千円

県立大型児童館として地域児童館と相互連携し、子育て環境の充実や児童健全育成の推進を高め、児童館活動の活性化につなげます。児童館フェスティバルは、利用者と児童館職員が参加しやすい方法を検討し、県内児童館全体で取り組みます。また、貸出遊具の見直しを行い、利用しやすい環境を整えます。

群馬県児童館連絡協議会	通 年	県内児童館との連携提携を図り、児童館の情報収集・職員研修等を行う県児連を運営し、児童館活動を推進する
児童厚生員等研修会	4回	児童厚生員、児童クラブ指導員等の資質向上を図るため、6科目 理論と実技科目の研修会を実施する
児童館長研修会	1回	児童館長の資質向上を図るための研修会を実施する
児童館職員交流会	1回	児童館職員で意見交換や情報等の共有を図る
群馬県内児童館フェスティバル	1回	県内児童館が一堂に会し、遊びや活動成果を発表する。状況に応じて開催方法を検討する
児童健全育成講演会	1回	一般及び児童健全育成関係者を対象に有識者を招き、講演会を開催する
児童館紹介・パネル展	通 年	昨年度作成した児童館紹介パネルを、月間だよりと共に館内に掲示する。
遊具等貸出	随 時	県内の児童館や児童クラブ、健全育成関係団体等に遊具やDVD等を貸し出す

### (2) ネットワークづくり事業 1,180千円

県内の子育て支援関係団体と連携し、プレーバス巡回（移動児童館）により、地域の子育ちと子育ての支援を行います。

拡充	プレーバス巡回（移動児童館）	通 年	県内各地に巡回し、遊びのプログラム等を提供する
	児童劇団等の登録・派遣	通 年	県内の優良劇団を選定する
		7回	登録劇団等の鑑賞事業・遊びの出前を派遣する

### (3) 組織化事業 927千円

定例会議を開催し、施設ボランティア同士の交流の場を提供すると共に、ボランティアの自主企画事業を援助し、組織として活動できるように促していきます。また、ジュニアスタッフでは、ボランティア体験を通じた社会参加活動を促進し、継続的なボランティア活動となるジュニアスタッフを養成します。

ボランティア運営	通 年	定例会議や事業への協力、養成講座を行い、施設ボランティアの増加に努める
ボランティア活動促進	通 年	活動成果の場を提供し、「おもちゃの病院」「マジック&腹話術ショー」等自主企画の促進を図る
ボランティアまつり	1回	登録ボランティア、ジュニアスタッフ合同で、活動の発表等を行う
ジュニアスタッフ養成	通 年	小・中・高校生世代を対象に、子ども達の主体性を尊重した活動を通じて、ボランティア活動の意識向上を養う
ぐんま地域活動連絡協議会連携事業	通 年	母親クラブフェスティバルや三世代交流事業を共催する

#### (4) 調査研究事業 772千円

障がい児・者利用促進プロジェクトでは、利用しやすい児童館づくりを目指し、障がい児・者とその家族を対象としたプラネタリウム特別上映会の他、関係機関と連携して障害者週間にイベントを実施します。また、遊びのプログラム開発では、開発したプログラムのマニュアルを作成し、県内児童館等へ普及していきます。オンライン事業調査・研究プロジェクトでは、他県の大規模児童館との連携事業を開催します。サービス向上委員会では、各種アンケートにより子どもの声を聞く機会を設ける他、利用者の実施事業の評価やニーズを把握し、事業への反映や充実に努めます。

障がい児・者利用促進プロジェクト	通 年	障がい児・者が利用しやすい児童館づくりに取り組む
遊びのプログラム開発・普及プロジェクト	通 年	遊びのプログラムマニュアル作成及び、普及に取り組む
オンライン事業調査・研究プロジェクト	通 年	さぬきこどもの国と連携してオンラインイベントを行う
サービス向上委員会	通 年	各種アンケートにより子どもの声や利用者ニーズの把握等を行い、事業の充実や環境整備を図る

#### (5) 児童文化推進事業 1,807千円

ぐんまこどもの夢大賞の応募に際してのFAQを作成し、応募しやすくなるよう努めます。また、多文化交流事業では、国際交流団体との連携により、情操を育む機会と身近な異文化に触れる機会を提供し、子どもの創造的な文化活動の充実に努めます。

ぐんまこどもの夢大賞	募集	1回	子どもたちが「夢」を描いた絵画作品と、童話作品を募集する（群馬県と共催）
	入選作品展	2回	入選作品を児童会館と群馬県庁で展示する
多文化交流事業		2回	外国文化の多様性に触れるため、世界児童画展示の他、外国の文化を感じられるテーマを定め事業を開催する。

#### (6) 子育て相談事業 264千円

子どもに関する育児の悩みや不安、生活習慣上の問題、子どもの発達などについて、来館または電話により相談に応じます。

こども・子育て相談室	電話相談等	通 年	一次相談窓口として職員による来館・電話による相談を受ける
	専門員相談	12回	臨床心理士や理学療法士による来館相談を事前予約で受ける

#### (7) 広報啓発事業 1,461千円

当館の魅力や各事業、子育てに関する情報を多くの県民に提供するため、多様な広報媒体を通じて継続的な情報発信に努めます。また、引き続き金山総合公園や地元郵便局との連携事業の他、児童虐待防止推進月間にあわせたイベント開催や啓発活動等に取り組みます。

ホームページの管理・運営	通 年	ホームページによる各イベント案内や電子受付、公式Xによるタイムリーな情報発信、YouTube公式チャンネルによる遊びの発信等を行う
インフォメーションの発行	通 年	紙媒体やHPでイベント情報を毎月発信する
「にこっと通信」発行	4回	定期発行の機関誌として子ども・子育て情報等を発信する

郵便局連携事業	1回	地元郵便局と連携して子どもたちへ日本の伝統文化を伝える機会を提供する
にこっちゃんと写真を撮ろう	2回	にこっちゃんととの写真撮影会を実施する (金山総合公園と共催)
誘客キャンペーン	1回	ぐんまこどもの国・児童会館の認知度向上を図るため、県内各地でパンフレット等を配布し、利用者増加を目指す (金山総合公園と共催)
オレンジリボンキャンペーン	11月	児童虐待防止推進月間にあわせたイベント開催や啓発グッズの配布等、来館者への意識啓発活動を行う
事業年報の発行	1回	年間実績報告書を作成し、関係機関へ送付する

### 3 その他の事業

#### 貸出事業

県条例に基づき、多目的ホール及び研修室の貸出しを行います。

### 4 管理運営

#### (1) 法令等遵守

県各種法令を遵守するとともに事業団の各種規程等に則り、県民に対して説明責任を果たします。また、業務遂行上改正を要する内部要領等は指導機関等の助言を受け、適宜見直しを行います。

#### (2) 施設設備維持管理

来館者が安心して気持ちよく利用できるよう、設備の保守管理はもとより日々の施設内点検・清掃等を通じ、安全性を優先した管理に努めます。

修繕等が生じた際は、利用者の負担を最小限とすべく迅速な処置に努めるほか、群馬県と協議を図りながら計画的な設備の更新を図ります。

#### (3) 人材育成

職員の資質向上にあたっては、職務に必要な専門知識にとどまらず、事業団職員として必要な識見を培うため、職場内研修をはじめ外部団体等が実施する研修会へ参加するほか、他の職員との共有に努めます。